



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学結核研究所集談会記録
Description	
Citation	結核の研究, 30, 97-97
Issue Date	1970
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26807
Type	departmental bulletin paper
File Information	30_P97.pdf



北海道大学結核研究所集談会記録

第 157 回 (昭和44年 2 月 4 日)

関川 勲: Structure of Sangivamycin

文献: Koppaka, V. Rao: J. Med. Chem., 11, 939, 1963.

奥山春枝: 免疫反応の組織障壁における多形核白血球の役割

文献: Cochrane, C. G.: J. Allergy, 42, 113, 1968.

第 158 回 (昭和44年 3 月 7 日)

外岡秀一: α -ヌクレオシドの合成及びその性質について

文献: Ikehara, M. et al.: Tetrahedron Letters, 4655, 1968.

高橋明男: ニワトリ・ヒナの胸腺, フアブリシウス囊摘出によるツベルクリンアレルギーへの作用について

第 159 回 (昭和44年 5 月 13 日)

三浦和子: Nucleic acids immune systems

文献: Levine, L. & Stoller, B. D.: Progr. Allergy, 12, 161, 1963.

山下慎子: ぶたの抗 DNP 抗体の Light Chain の type について

第 160 回 (昭和44年 6 月 3 日)

浜田栄司: 家兎虫垂の免疫病理学的研究

有馬 純, 佐々木昭雄, 樽松三郎: 新抗結核薬 Rifampicin について

文献: Porven, G. & Canetti, G.: Rev. Tuberc. Pneumol., 31, 749, 1967. 他

第 161 回 (昭和44年 7 月 8 日)

木村卓郎: Macroglobulin について

文献: Suzuki, T. & Deutsch, H. F.: J. Biol. Chem., 242, 2725, 1967. 他

第 162 回 (昭和44年 9 月 2 日)

結核研究所研究発表会

奥山春枝: 大食細胞培養上清の皮膚刺激性物質について

高橋明男: ニワトリヒナの胸腺, Fabricius 囊摘出による遅延型アレルギーへの作用

山本一男: 副鼻腔粘膜の螢光抗体法的研究

森川和雄: 兎血清 γ A の分画について

病理部門研究の概括と展望

大原 達, 木村卓郎, 清水正秀: γ M 抗体の抗原結合能に関する研究

大原 達: 細菌部門研究の概括と展望

有馬 純, 久世彰彦, 丸谷竜司: Rifampicin に関する動物実験 (中間報告)

久世彰彦, 樽松三郎, 永山能為: Rifampicin の臨床成績

佐々木昭雄: 結核菌リン脂質の免疫化学的研究 (Phosphatidyl inositol dimannosides の精製)

三浦和子, 高橋義夫: 酵素抽出による菌体成分の研究

樽松三郎: 結核患者より分離せる結核菌の毒力について

高橋義夫: 予防部門研究の概括と展望

大杉隆史: 結核患者における呼吸不全について

関川 勲: 抗結核剤の研究 (I)

Imidazo (4,5-e)-12,4-triazine の合成

西江 純: 抗結核剤の研究 (II)

ピリジン誘導体の合成

外岡秀一: 抗結核剤の研究 (III)

I H-Pyrrol (2,3-b) Pyridine 誘導体について

柿本七郎: 化学部門研究の概括と展望

塩川洋之: 生化学部門研究の概括と展望

第 163 回 (昭和44年10月 7 日)

久世彰彦: 肺結核と肺癌

文献: Paul, H. et al.: Amer. Rev. Resp. Dis., 46, 451, 1967. 他

柿沼光明: γ G の構造に関する研究

第 164 回 (昭和44年11月 4 日)

山本健一: 1) BCG Cell Wall 免疫マウス細胞での Macrophage Migration Inhibition の研究

2) 遠心クロマトによる結核菌 Wax D の分画

佐々木昭雄: 脂質の免疫化学的反応について

文献: Rapport, M. M. & Graf, L.: Progr. Allergy, 13, 273, 1969.

第 165 回 (昭和44年12月 9 日)

柿本七郎: Structure-Activity Relationships and Mechanism of the Resistance (Progress of Fundamental Studies on Kanamycin II)

文献: Umezawa, H.: Asian Med. J., 11, 291, 1968.